

2018年欧州製紙連合会構成国における古紙回収及び消費動向概要

欧州製紙連合会(Confederation of European Paper Industries[CEPI])のホームページ⁽¹⁾に「Key Statistics 2018」と題して、欧州製紙連合会構成国⁽²⁾の紙・パルプ主要統計が発表されましたので、以下に古紙関係の統計を紹介します。

1. 古紙の回収量と消費量及び利用率とリサイクル率

2018年 CEPI 構成国全体の古紙回収量は前年に対し 166 千トン減少し 56,695 千トンとなり、古紙消費量は前年に対し 453 千トン増加し 48,791 千トンとなっている。

古紙利用率^(注1) は前年に比べ 0.5 ポイント増加し、52.9%となっている。

ヨーロッパ^(注2) 古紙リサイクル率^(注3) は前年に比べ 0.8 ポイント減少し、71.6%となっている (表 1)。

表 1 古紙関連の統計データ

項目	1991年	2000年	2005年	2010年	2017年	2018年	対前年比 (%)	対2000年比 (%)
紙・板紙生産量 (千 t)	65,052	90,823	98,259	95,065	92,208	92,180	0.0	1.5
紙・板紙消費量 (千 t)	60,102	82,065	86,369	81,684	77,414	77,353	-0.1	-5.7
古紙回収量 (千 t)	25,452	43,658	53,100	55,917	56,861	56,695	-0.3	29.9
古紙消費量 (千 t)	25,360	40,922	46,745	48,122	48,338	48,791	0.9	19.2
古紙利用率 ^(注1) (%)	39.0	45.1	47.6	50.6	52.4	52.9	0.5	7.9
ヨーロッパ ^(注2) 古紙リサイクル率 ^(注3) (%)	40.3	51.8	61.8	68.5	72.4	71.6	-0.8	19.8

(注1) 古紙利用率 = (古紙消費量) / (紙・板紙生産量) × 100

(注2) ここでのヨーロッパは、EU-28ヶ国にノルウェー、スイスを含めたもの

(注3) 古紙リサイクル率 = (古紙消費量 + 純古紙貿易量) / (紙・板紙消費量) × 100

2. 古紙の輸出入量

2018年の全輸出量は前年に対し 651 千トン減少し 9,972 千トンとなり、輸出先としてはアジア地域が最も多いが、前年に対し 704 千トン減少している (表 2)。一方、全輸入量は前年に対し 31 千トン減少し 2,068 千トンとなり、輸入先としては CEPI 構成国以外のヨーロッパ地域から全体の 79.0%、北アメリカ地域から同 18.9%を輸入している (表 3)。

表 2 古紙の輸出量

(単位: 千 t)

地域	年	2000年	2005年	2010年	2017年	2018年		
						輸出量	割合 (%)	対前年比 (%)
その他のヨーロッパ		676	444	373	1,066	979	9.8	-8.2
北アメリカ		47	22	27	2	5	0.1	179.2
ラテンアメリカ		7	5	21	35	32	0.3	-8.1
アジア		2,894	7,087	9,157	9,506	8,802	88.3	-7.4
その他の地域		127	140	14	14	154	1.5	-
合計		3,751	7,698	9,592	10,623	9,972	100.0	-6.1

表 3 古紙の輸入量

(単位: 千 t)

地域	年	2000年	2005年	2010年	2017年	2018年		
						輸入量	割合 (%)	対前年比 (%)
その他のヨーロッパ		735	1,131	1,596	1,801	1,634	79.0	-9.3
北アメリカ		264	199	184	214	390	18.9	82.5
ラテンアメリカ		0	4	3	22	18	0.9	-19.9
アジア		9	0	6	10	5	0.2	-47.1
その他の地域		7	9	8	53	21	1.0	-60.7
合計		1,015	1,343	1,796	2,099	2,068	100.0	-1.5

3. 2018年の古紙消費動向

2018年の製紙原材料に占める古紙割合は46.0%で、2017年の46.1%より0.1ポイント減少している。

2018年の古紙の消費先は段ボール原紙が最も多く、27,866千トン消費し全体の57.2%を占めている。次に多いのが、新聞用紙で5,253千トン消費し全体の10.8%を占めている。次に包装紙で4,676千トン消費し全体の9.6%を占めている（表4、表5、図1、図2）。

製品品種別の古紙利用率は、段ボール原紙が最も高く93.3%で、次いで新聞用紙93.0%、包装紙52.6%の順となっている。一方、最も利用率が低いのはその他印刷用紙13.0%となっている（表5、図3）。

古紙品種別消費量は段ボール古紙が最も多く25,663千トンで、全消費量の52.6%を占めている。次いで、ミックス古紙、新聞・雑誌古紙、その他の古紙の順になっており、それぞれの消費量は9,266千トン、8,846千トン、4,984千トンで、構成比はミックス古紙が19.0%、新聞・雑誌古紙が18.1%、その他の古紙が10.2%となっている（表5、図4）。

CEPI構成国別古紙消費量を見ると、最も多いのはドイツで全消費量の35.3%を占めている。次いでフランス11.1%、イタリア10.5%、スペイン10.0%、イギリス6.4%と続いている（図5）。

最後に、CEPI構成国の紙・パルプ産業における原材料から製品になるまでの物流の流れを図示している（図6）。

表4 CEPI構成国の製紙メーカーでの原材料別消費量（単位：千t）

原材料	年	2000年	2005年	2010年	2017年	2018年		
						消費量	構成比(%)	対前年比(%)
自製パルプ ^(注1)		28,362	28,460	25,989	23,816	23,885	22.5	0.3
市販パルプ		18,015	19,032	17,860	18,973	19,836	18.7	4.5
古紙 ^(注2)		40,922	46,745	48,122	48,338	48,791	46.0	0.9
非繊維材料		15,603	16,556	16,213	13,758	13,508	12.7	-1.8
合計		102,902	110,793	108,184	104,885	106,020	100.0	1.1

(注1) 自製パルプはパルプ製造から抄紙まで行いう一貫工場で製造されたパルプを示す。

(注2) 古紙の2018年消費量のうち、32千トンは脱インキパルプ製造のために消費された。

表5 2018年CEPI構成国の製品品種別古紙消費量

古紙品種	ミックス古紙(千t)	段ボール古紙(千t)	新聞・雑誌古紙(千t)	その他の古紙(千t)	古紙消費量合計(千t)	古紙消費量製品品種割合(%)	製品品種別生産量(千t)	製品品種別古紙利用率(%)
新聞用紙	20	0	5,092	142	5,253	10.8	5,651	93.0
その他印刷用紙	47	4	2,767	625	3,443	7.1	26,479	13.0
小計	67	4	7,858	767	8,696	17.8	32,130	27.1
段ボール原紙	4,813	22,095	137	822	27,866	57.2	29,876	93.3
紙器用板紙	1,674	612	77	807	3,170	6.5	9,613	33.0
包装紙	2,247	1,727	218	485	4,676	9.6	8,888	52.6
小計	8,733	24,433	432	2,114	35,712	73.2	48,377	73.8
衛生用紙	286	151	522	1,934	2,894	5.9	7,570	38.2
その他用紙	180	1,075	34	169	1,457	3.0	4,103	35.5
合計	9,266	25,663	8,846	4,984	48,759	100.0	92,180	52.9
構成比(%)	19.0	52.6	18.1	10.2	100.0	-	-	-

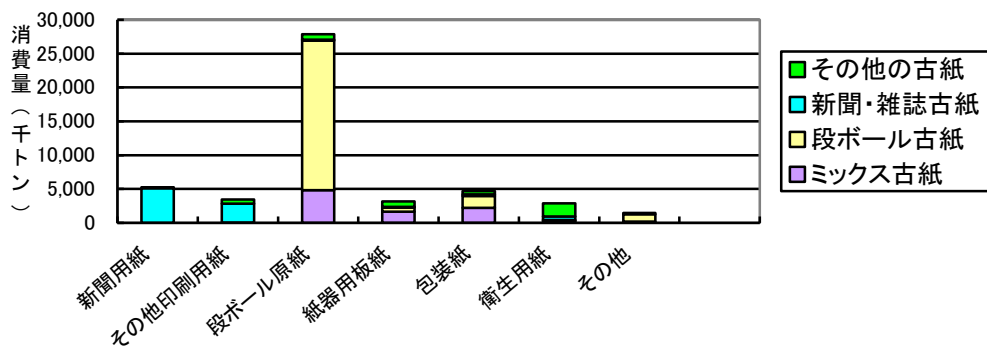


図1 製品品種別古紙消費量

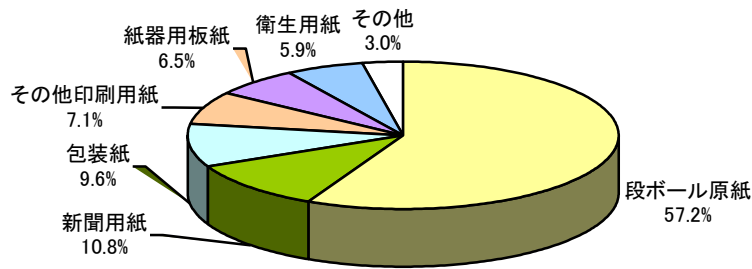


図2 古紙消費量製品品種割合

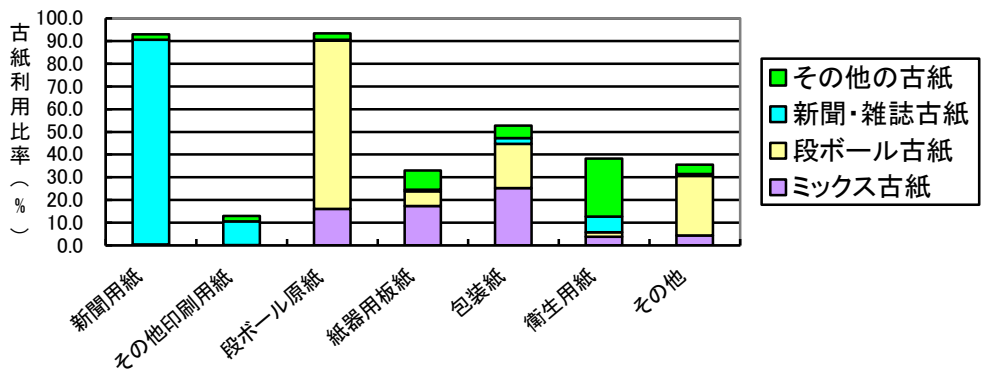


図3 製品品種別古紙利用率

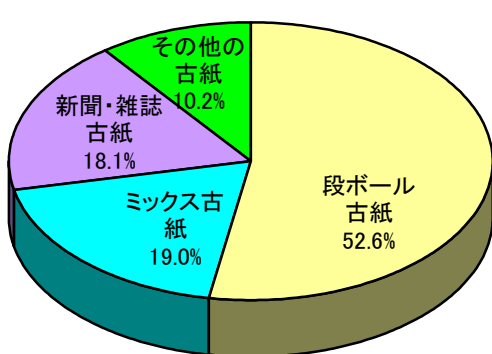


図4 古紙品種別消費量構成比

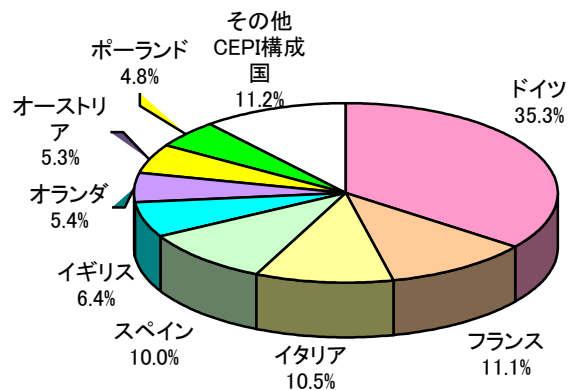


図5 CEPI 構成国別古紙消費量割合

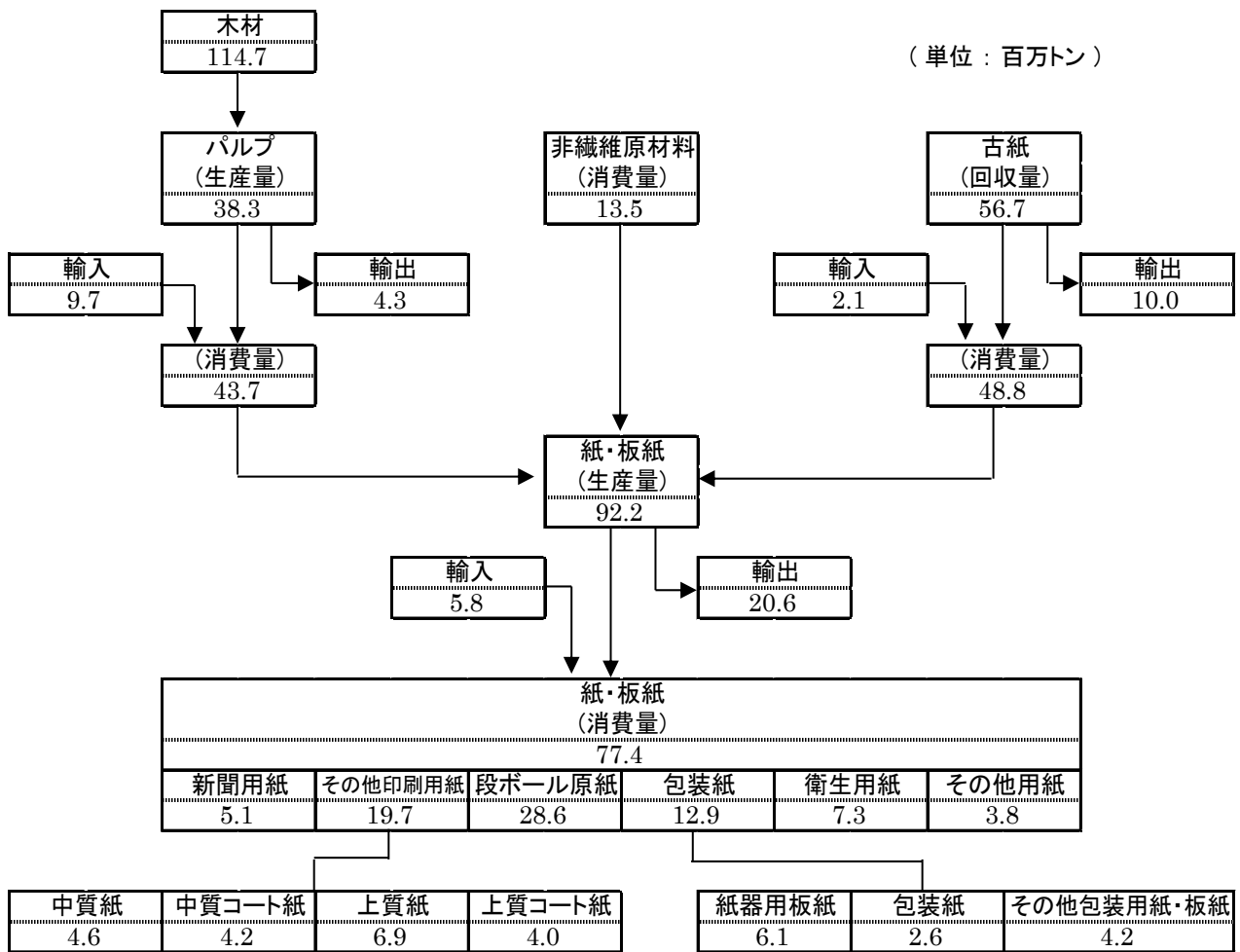


図6 2018年 CEPI 構成国の紙・パルプ産業
(原材料から製品までの物流の流れ)

- (1) <http://www.cepi.org>
- (2) 欧州製紙連合会構成国：オーストリア、ベルギー、チェコ、フィンランド、フランス、ドイツ、ハンガリー、イタリア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、イギリス
- (3) 紙・板紙消費量＝CEPI 構成国の生産量＋CEPI 構成国以外からの輸入量－CEPI 構成国以外への輸出量